

こだま新聞

第17号
平成9年3月1日
編集・印刷
児玉医院・歯科
Tel.0188-75-2092

新聞切り抜き2

以前、新聞の切り抜きを待合室に置いていた事を書いたことがあります。今は、残念ながら中断しています。

医療関係の記事を選択して切り抜く手間が結構大変なのが中断した理由ですが、歯科に関する記事に問題があるもののがかなり多いということも原因の一つになっています。

昨年度の歯科関係の記事を読んで感じたことは、「読者に誤解や間違った知識を持たせてしまう」と思われる記事が多すぎるということです。

問題がある記事として一番多いものは研究段階の新素材や治療法です。ほとんどの場合、良いことをやや誇張して書かれています。その反面、問題点がはつきり書かれていない

いか、ぼかされていて、読者に誤ったイメージを与えやすい文章になっています。切り抜きをする度に解説が必要だなと痛感しました。

各新聞社では、いわゆる知識人を嘱託して記事内容をチェックしていると思います。が、それがあまり有効に機能していないか、又は人選を誤っていると思えないものも見られます。

公共のメディアとして、常に批判する目を持ちながら報道を心掛けて欲しいものです。



飲み助のコーナー

仕事を終えた後のお酒は、私にとってもホッとする時間ですが、酒飲みに怖い話というらしい話。

《怖い話》

ビールの原料ホップには植

物エストロゲンが多く含まれています。ビールを飲み過ぎると、これが原因で乳ガンの危険性が増え、女性では月経不順を起こしやすくなるなどのこと。

ビールの消費量の多い都道府県は乳ガンの死亡率が高いそうです。



《うれしい話》

赤ワインに含まれるフラボノイドという物質が注目されているそうです。フラボノイドは動脈硬化の原因となるLDLの酸化を押さえる（ビタミンEに比べると十分の一くらい）作用があり、それが「アルコールの飲み過ぎに多い心筋梗塞の発生を低くしているのではないか」と考えられているそうです。

赤ワインの大量消費国のフランスに心筋梗塞が少ない理由の一つとして考えられている

ようです。少しだけどうれしい話。

職員の声

《歯科医療と私》

私が歯科の仕事に携わって、もうじき5年が経とうとしています。私にとってはあつという間の歳月でした。

仕事に厳しい先生の指導は決して優しいものではありませんでした。この仕事を続けていけるかどうか何度迷ったことか知れません。それでも、一つの仕事を覚えた時は喜びが大きかったように思います。

私が悔しい思いや悲しい思いをしている時、仲間からかけてもらった暖かい言葉は、仕事を今まで続けて来るために、なくてはならないものでした。

地元で働いているので、来院される患者さんとのコミュニケーションを大事にしながら私を含めスタッフ一同、これからも頑張っていきたいと思っています。（菅生）

終了証

次の皆さんに終了証をお渡しすることができました。

金 知弘くん

北林 和典くん

八柳 創太くん

ごくろうさまでした。

歯の健康情報

月日	放送局	時刻	内容
2/25	秋田放送	11:25	顎関節症の治療
3/01	秋田テレビ	09:55	楊貴妃伝説
3/08	秋田放送	11:25	男の“ガ”イ”は美しい歯
3/04	“	“	8020 良い歯幸せ
3/11	“	“	歯つらつ が長寿の秘訣
3/15	秋田テレビ	09:55	母と子のよい歯のツクル
3/18	秋田放送	11:25	かぐや姫の入れ歯
3/25	“	“	医・保・福の連携で口腔ケア

今月の予定

二月

二三日 職員誕生日（菅生）
二五日 歯科衛生士学院講師会

三月

九日 休診 近代口腔科学研究会
十六日 県歯科医師会総会
十九日 八郎潟幼稚園卒園式
二〇日 休診（春分の日）